

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

### 弊社ファンド9月30日基準価額の下落について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 9 月 30 日、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5% 超下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

基準価額前日比 5% 超下落ファンド名とその状況（平成 20 年 9 月 30 日現在）

| ファンド名                         | 基準価額 (円) | 前日比 (円) | 下落率 (%) |
|-------------------------------|----------|---------|---------|
| 三井住友・DC外国株式アクティブ              | 10,234   | -1,195  | -10.46% |
| 三井住友・DC外国株式インデックスファンドS        | 11,022   | -1,258  | -10.24% |
| 三井住友・世界食糧関連ビジネスファンド           | 7,577    | -848    | -10.07% |
| 世界(食糧・資源)株式ファンド               | 7,409    | -827    | -10.04% |
| 三井住友・グローバル株式年金ファンドBコース為替ヘッジなし | 7,410    | -824    | -10.01% |
| 中国株利回りファンド2003 - 6            | 14,102   | -1,401  | -9.04%  |
| ワールドテクノロジー・ファンド               | 2,991    | -278    | -8.50%  |
| 中国株利回りファンド2003 - 7            | 12,985   | -1,186  | -8.37%  |
| 中国株利回りファンド2003 - 2            | 15,181   | -1,381  | -8.34%  |
| 中国株利回りファンド2002 - 8            | 15,207   | -1,381  | -8.33%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 3            | 10,558   | -954    | -8.29%  |
| 中国株利回りファンド2003 - 3            | 15,008   | -1,330  | -8.14%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 2            | 11,326   | -998    | -8.10%  |
| 中国株利回りファンド2001 - 12           | 17,516   | -1,527  | -8.02%  |
| 中国株利回りファンド2002 - 12           | 16,528   | -1,437  | -8.00%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 5            | 11,236   | -974    | -7.98%  |
| 中国株利回りファンド2002 - 5            | 13,935   | -1,205  | -7.96%  |
| 三井住友・グローバル好配当株式オープン           | 6,757    | -582    | -7.93%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 11           | 8,642    | -734    | -7.83%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 9            | 9,660    | -820    | -7.82%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 10           | 9,210    | -775    | -7.76%  |
| DCニュー・チャイナ・ファンド               | 6,323    | -531    | -7.75%  |
| 中国株ファンド・大国2006 - 6            | 11,140   | -935    | -7.74%  |
| 中国株ファンド・大国2008 - 1            | 6,168    | -516    | -7.72%  |
| 中国株ファンド・大国2007 - 2            | 7,967    | -665    | -7.70%  |
| 中国株利回りファンド2001 - 10           | 21,103   | -1,746  | -7.64%  |
| 中国株利回りファンド2002 - 6            | 13,857   | -1,822  | -7.63%  |
| 三井住友・インド・中国株オープン              | 6,268    | -517    | -7.62%  |
| 三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド            | 12,149   | -1,000  | -7.61%  |
| 中国株利回りファンド2001 - 11           | 21,796   | -1,785  | -7.57%  |
| 中国株ファンド・大国2008 - 4            | 6,245    | -484    | -7.19%  |
| 三井住友・中国株・アジアリートファンド2007 - 9   | 4,804    | -371    | -7.17%  |
| グローバル3資産ファンド                  | 7,328    | -550    | -6.98%  |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 10 - 105 | 6,914    | -517    | -6.96%  |
| 三井住友・グローバル株式年金ファンドAコース為替ヘッジあり | 5,618    | -414    | -6.86%  |
| 中国株ファンド・大輪2008 - 7            | 7,271    | -508    | -6.53%  |

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社で作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

|                             |        |        |        |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06-09   | 6,990  | -480   | -6.43% |
| チャイナ・フロンティアオープン             | 16,890 | -1,153 | -6.39% |
| 中国株ファンド・大輪2008-8            | 8,050  | -533   | -6.21% |
| 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式ファンド     | 6,469  | -427   | -6.19% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のひだまり | 6,403  | -406   | -5.96% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-100   | 7,280  | -454   | -5.87% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2007-7-55     | 6,196  | -386   | -5.86% |
| ニュー・グローバル・バランス・ファンド         | 7,296  | -444   | -5.74% |
| タイ王国・利回り株ファンド2008-3         | 6,726  | -409   | -5.73% |
| 三井住友・アジア4大成長国オープン           | 5,630  | -338   | -5.66% |
| 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン     | 6,888  | -413   | -5.66% |
| タイ王国・利回り株ファンド2007-11        | 6,707  | -394   | -5.55% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2006-3        | 6,524  | -382   | -5.53% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2006-12       | 6,425  | -375   | -5.51% |
| アジア優良株ファンド                  | 5,640  | -327   | -5.48% |
| 条件付元本確保型収益分配ファンド2007-6      | 6,119  | -346   | -5.35% |
| ちば興銀株価指数参照ファンド2006-1-65     | 6,389  | -344   | -5.11% |
| 三井住友・メインランド・チャイナ・オープン       | 10,098 | -540   | -5.08% |
| グローバル高金利通貨ファンド              | 8,598  | -459   | -5.07% |

9月30日の基準価額は、外国の株式・債券・リート等に投資するファンドの場合、9月29日時点の株式等組入れ資産の各市場での終値を、9月30日の為替レート（日本時間午前10時頃の為替レート（TTM））で円換算し算出しております。

「中国株利回りファンド2002-6」は9月30日の分配金625円（1口当たり）を加算しております。

#### （1）基準価額の変動要因について

##### （内外株式市場）

9月29日の欧米株式市場は、欧州の金融サービス大手フォルティスがベルギー、オランダ、ルクセンブルク3国の公的資金で救済されたほか、英国の住宅金融大手ブラッドフォード・アンド・ビングレーが公的管理化に置かれるなど、欧州でも金融機関の経営不安が高まり、株式市場が下落していたところに、米国下院で可決されるとの見通しであった金融安定化法案の否決が報じられると米国株式市場は急落しました。9月30日の国内株式市場も29日の米国株式市場が暴落したことを受けて、TOPIXは一時5%を超える大幅な下落となりました。

アジアの株式市場についても、欧米の金融不安と先進国向けの輸出鈍化が鮮明になってきたこと、中国経済が減速傾向を強めていることが株価下落要因となっています。

##### （内外債券市場）

9月29日の海外債券市場は、欧州での金融機関に対する経営不安、米国下院での金融安定化法案否決による株式の大幅下落を受けて、リスク回避的な投資行動から国債が買い進まれ、米国10年国債利回りは3.5%台へと約30bp（1ベーシスポイントは、0.01%）低下しました。欧州債券市場も同様にリスク回避的な動きから10年国債利回りは20bp前後低下しました。

9月30日の国内債券市場は、国内株式市場の大幅下落と29日の米国債券市場での債券利回りの大幅低下を受けて、債券先物は1ポイント以上買い進まれる場面がありましたが、新発10年国債利回りは1.4%台半ばで推移しており、利回りの低下幅は5bp以下にとどまっています。

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。（社）投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

(為替市場)

為替市場は金融市場のリスク回避的な動きからドル円、ユーロ円ともに円高方向に、ユーロドルはドル高方向に振れています。これは、金利の高い通貨を買い持ちしていたポジションが、リスクを回避する動きからポジション解消されたために変動したものと見られます。

### 各国・地域の株式・為替市場動向

(株式)

| 国・地域     | 株式指数       | 終値        | 騰落率    |
|----------|------------|-----------|--------|
| 日本       | TOPIX      | 1,087.41  | -3.59% |
|          | 日経平均株価     | 11,259.86 | -4.12% |
| アメリカ     | SP500指数    | 1,106.39  | -8.79% |
|          | NYダウ30種平均  | 10,365.45 | -6.98% |
|          | NASDAQ総合指数 | 1,983.73  | -9.14% |
| イギリス     | FT100指数    | 4,818.77  | -5.30% |
| ドイツ      | DAX指数      | 5,807.08  | -4.23% |
| 香港       | ハンセン指数     | 17,880.68 | -4.29% |
| タイ       | SET指数      | 601.29    | -2.86% |
| マレーシア    | KL総合指数     | 1,019.72  | -0.08% |
| シンガポール   | FTSE ST指数  | 2,361.34  | -2.08% |
| インドネシア   | ジャカルタ総合指数  | 1,832.51  | -0.74% |
| ベトナム     | VN指数       | 479.00    | -0.99% |
| フィリピン    | フィリピン総合指数  | 2,607.58  | 0.40%  |
| インド      | BSE100指数   | 6,564.06  | -3.95% |
| オーストラリア  | 全普通株指数     | 4,839.20  | -1.93% |
| ニュージーランド | 全普通株指数     | 818.75    | -0.34% |

終値・・・日本:9月30日、海外:9月29日 騰落率・・・日本:9月29日比、海外:9月26日比

(為替)

| 通貨         | TTM<br>(2008年9月30日) | 騰落率<br>(2008年9月29日比) |
|------------|---------------------|----------------------|
| アメリカドル     | 103.57              | -3.1%                |
| イギリスポンド    | 187.15              | -4.2%                |
| ユーロ        | 149.05              | -3.8%                |
| 香港ドル       | 13.34               | -3.0%                |
| タイバーツ      | 3.04                | -3.2%                |
| マレーシアリンギット | 29.97               | -3.5%                |
| シンガポールドル   | 72.35               | -3.2%                |
| インドネシアルピア  | 0.011               | -4.3%                |
| ベトナムドン     | 0.0062              | -3.1%                |
| フィリピンペソ    | 2.23                | -2.2%                |
| インドルピー     | 2.21                | -5.6%                |
| オーストラリアドル  | 82.87               | -6.7%                |
| ニュージーランドドル | 69.38               | -5.4%                |

(出所)社団法人投資信託協会のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## (2) 今後の見通し

(米国の金融安定化を巡る動き)

9月29日に下院で否決された法案は、成立に向けた試みが続けられると考えられます。10月2日に上

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

院、下院ともに本会議が予定されており、そこで法案を再採決するか何らかの修正を加えて採決を行い、早ければ10月2日、審議に時間をかければ来週に法案が可決される可能性は十分あると見込まれます。

(内外株式市場)

内外株式市場では金融安定化法案の動向を巡り、下値不安を抱えながら株式市場は値動きの激しい展開が予想されます。法案が可決された場合は、一旦金融不安が緩和し、株式市場は反発を示すと見込みますが、不良債権の買取価格をどのように定めるか、金融機関が買取にスムーズに応じるかといった運行面の課題もあり、金融不安の緩和が一時的なものにとどまる可能性もあります。

金融安定化法案が否決された場合は、一段の下ぶれリスクがありますが、日米欧の金融当局が金融危機拡大を防ぐために連携してドルの資金供給を増やすなど政策面での協調がとられており、金融危機回避に向けた追加的な政策対応の可能性もあり、これらが株式市場の下支えに寄与するものと考えられます。

一方、アジアでは、外需の減速は今後も継続すると見込まれ、経済成長率は低下すると思われませんが、幸いな事に原油・食料品価格の低下を受けて、物価は下落に向いつつあるため、アジア各国政府は徐々に金融・財政両面で景気刺激的な政策へ転換することが見込まれます。バリュエーションはかなりの悪材料を織り込みつつある水準ではありますが、世界的な金融市場の混乱とそれに対する政策対応の不透明感から投資家のリスク回避傾向は継続するとみられ、当面不安定な展開が予想されます。

(内外債券市場)

内外債券市場でも、株式市場と同様に短期的には金融安定化法案と金融システム懸念の動向を巡り、内外債券市場の振幅も大きなものとなりそうです。

金融安定化法案が可決し、金融不安が一旦緩和すれば、債券利回りは反転上昇する場面があると見込みますが、中長期的には内外の景気低迷が当面続き、原油価格等の下落によりインフレ圧力が緩和し、米国が利下げに踏み切る可能性もあり、債券利回りには低下圧力が加わりやすい状況が続く見通しです。

クレジット市場は、内外の景気低迷が続き、企業の信用リスクが高まりやすい状況が続く見通しから、スプレッドは拡大基調で推移する可能性が高いと見込みます。

(為替市場)

為替市場ではリスク回避的な投資行動から、円の買戻し圧力がかかりやすい状況にあります。日本の景気や金利水準からは円を積極的に選好する理由に乏しく、金融安定化法案が可決し、金融不安が一旦緩和すれば、円高圧力は一巡すると見込まれ、その後はユーロ、米ドル、円とも材料拮抗の中で方向感の乏しい相場展開になると予想しています。

以上